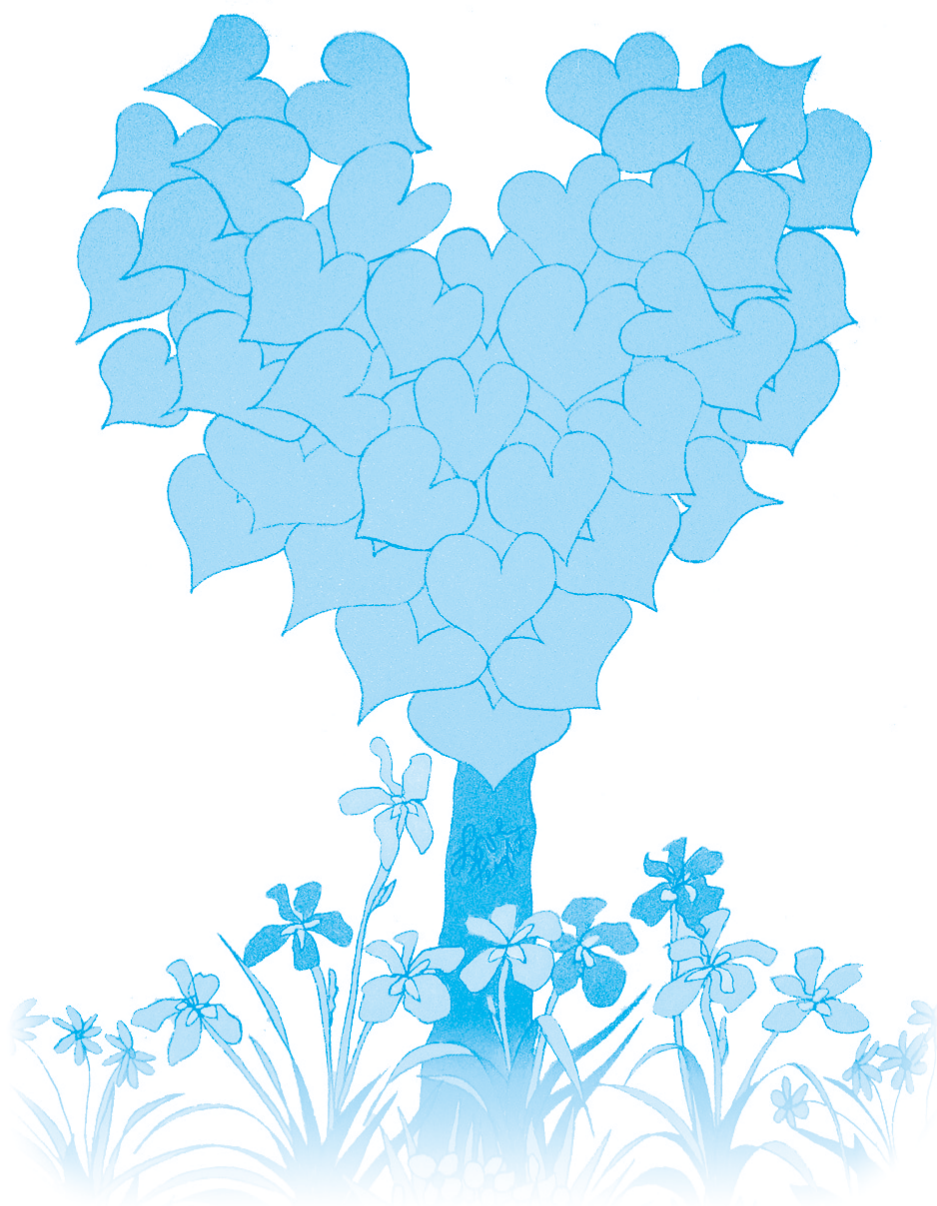


埼玉県立がんセンター

入院のご案内



〒 362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 7 8 0 番地

電話：048-722-1111

FAX：048-722-1129

URL：<https://www.saitama-pho.jp/saitama-cc/>

☆あなたの病室は

() 階 () 病棟 () 号室です。

☆主治医は () です。

☆病棟師長は () です。

☆担当看護師は () です。

☐ 【入院当日のご案内（外来にて抗原検査を受ける方）】

入院日 月 日 ()

____時____分 から 1 A 室（⑭核医学の前）で抗原検査を行います。

① ____時____分 までに再来受付機で受付をしてください。

② 1 A 室へお越しください。抗原検査を行います。
結果がでるまで 1 時間程度かかります。

③ 呼出受信機にてお知らせがありましたら「7 番 入院受付」へお越しください。

☐ 【入院当日のご案内】

入院日 月 日 ()

 時 分 ～ 時 分

※再来受付機で受付はしないでください。

①「7 番 入院受付」へお越しください。

入院の手続き	5 頁
入院生活について	6 頁
医療安全対策・褥瘡（じょくそう）予防	11 頁
感染防止対策	13 頁
面会について	15 頁
入院中の費用について	16 頁
退院の手続きについて	17 頁
診断書等の書類が必要なときは	18 頁
保険、住所、電話番号などが変更になったときは	18 頁
患者サポートセンター（がん相談支援センター）のご案内	19 頁
病棟内の設備	21 頁
病院内の設備	22 頁
病院内のご案内	23 頁
建物のご案内	24 頁

入院中のご要望・ご意見について

入院に際してのご要望やご意見は、病棟師長または代行者に、どのようなことでもお気軽にお伝えください。

また「病院長への手紙」を各フロアに設置しております。何かありましたら、ご記入後、受付箱へ入れていただくようお願いします。

病院の理念

“唯惜命” ～ただ命を惜しむ～

私たちは生命の尊厳と倫理を重んじ、先進の医療と博愛・奉仕の精神によって、がんで苦しむことのない世界をめざします。

基本方針

埼玉県立がんセンターは、次の基本方針のもとに、「先進的ながん医療を実践する進化する病院」・「日本一患者と家族にやさしい病院」をめざします。

1 患者さん中心のチーム医療 ————— Patient First

十分な医療情報提供と患者さんの自己決定権の尊重を通じて、患者さん中心に、最新の技術と豊かな経験を有する多くの領域の専門職が協力してチーム医療を行い、安全でより良い診療と質の高い医療サービスを提供します。

2 高度・先進的な医療 ————— Advanced Medicine

新しい医療の研究・開発・推進を行い、多様化し増大する県民の医療ニーズに対応できる高度・先進的ながん診療を実践します。

3 地域医療連携の推進 ————— Cooperation with Local Health Care

緊密な情報交換により地域医療連携を推進し、医療の役割分担を明確にして、がん医療の地域協力体制を築きます。

4 職員の教育・育成と質の向上 ————— Human Resource Development

がん専門職の育成および医療従事者の教育・研修を通じて、次世代の埼玉県のがん医療の向上に努めます。

5 診療情報等の適正管理 ————— Information Security

診療などに関する個人情報の適切な利用とともに、不正アクセスや漏えいを予防し、患者さんが安心して医療を受けられる情報管理体制を築きます。

6 患者と職員が宝物 ————— Treasure are Patients and Staff

患者さんは言うまでもなく、職員はがんセンターの宝です。患者と家族と、そして職員にもやさしい病院が目標です。

臨床倫理の指針

当院では病院の理念として掲げる“唯惜命～ただ命を惜しむ”を実現することを目的とし、基本的人権と患者さんの権利、および医療倫理の原則指針に基づき、「臨床倫理に関する指針」を定めています。

1 患者さんの人格、信仰、意思等に配慮し、説明と同意に基づく患者さんの自己決定権を尊重します。

- 1) 「説明と同意」を基本として十分な話し合いを行った上で、患者さんの意向に基づいた検査や治療法を選択します。
- 2) 患者さんが病状やその他の理由で判断できない場合には、ご家族と相談して代理決定を行います。
- 3) 提示した治療を拒否された場合はその理由を検討し、最善と思われる他の治療と対策を患者さんやご家族と一緒に考えます。
- 4) 治療を完遂するために、患者さんやご家族に守って頂く事項もあります。ご協力をいただき共に治療に臨みます。

2 患者さんの利益を最優先とし、公正かつ公平な医療を提供します。

- 1) 病気の診断、予測される予後、心理的状況から診療目標を設定し、患者さんにとって最も適切と思われる治療法を提示します。
- 2) 診療ガイドラインやエビデンスに基づいた標準治療を提案しますが、その他に臨床試験、治験、ゲノム医療等の様々な治療の選択肢も提案いたします。
- 3) 診療内容は、患者さんへの利益、不利益を含めて説明します。また、他の施設に意見を求めるセカンドオピニオンにも対応いたします。
- 4) 治療との兼ね合いを考えながら、生活の質（QOL）が保たれるように配慮し、リハビリテーションや緩和ケアも含めて計画し提示します。

3 患者さんのプライバシーを尊重し、患者さんを取り巻く社会的環境を把握して医療を提供します。

- 1) 患者さんの治療に際して影響を及ぼすご家族の問題についても考慮して療養生活に活かします。
- 2) 患者さんの経済状況、宗教、ジェンダー、その他個人に関する問題も考慮します。
- 3) 患者さんの症状、所見、治療や家族歴等に関する守秘義務の遵守と個人情報の保護を徹底します。
- 4) 同じ病気で苦しむ患者さんのために役立つ情報は、説明と同意に基づき、個人情報情報を厳重に保護したうえで活用させていただきます。

4 院内の各種委員会（倫理審査委員会、臨床倫理専門部会、IRB等）での審議結果に従った医療・治療・臨床試験・臨床研究を行います。

患者さんの権利

埼玉県立がんセンターでは「唯惜命」の理念に基づき、患者さんの権利を尊重した医療の提供に努めております。

- 1 良質な医療を受ける権利** すべての人には差別なしに適切な医療を受ける権利があります。
- 2 医療情報の提供を受ける権利** 自分の病気、受ける処置や検査、治療に関して、十分な分かりやすい説明を受ける権利があります。
- 3 自己決定権** 十分な納得できる説明に基づいて、治療計画等を自分の意思で決定する権利があります。治療計画等を拒否する権利もあります。
- 4 医療情報を知る権利** 自分に関する医療情報を知る権利があります。埼玉県立がんセンターでは患者さんの診療情報開示の請求に対して、所定の手続きをとることで情報開示をしております。
- 5 セカンドオピニオンを得る権利** 自分の病気に関する診断や治療法などについて、他の医療機関の意見を聞きたい場合はその権利があります。
- 6 プライバシーが守られる権利** 患者さん個人の情報は、患者さんの承諾なく第三者に開示されない権利があります。
- 7 人間として尊厳を得る権利** 治療の過程において個人としての人格を尊重される権利があります。

患者の皆様には、これらの権利を適切に行使して、私たち医療従事者と共に力をあわせ、治療に参画されることを期待します。

患者さんの責務

当センターでは、だれもが快適で有効な診療を受けていただけるよう、次の事項を患者さんとそのご家族の方々の責務としてお願いしております。

- 1** ご自身の病状や既往歴について正確な情報を病院職員にお話してください。
- 2** 診療や療養上必要な処置については、病院職員の意見を尊重しご協力ください。
- 3** より良い医療環境を維持するために病院が定めた取り決めをお守りください。
- 4** 他の患者さんの診療や病院職員の業務遂行に支障が生じないようご協力ください。
- 5** 病院職員への暴力・暴言はおやめください。
- 6** 医療事故防止にご協力ください。
- 7** 医療費の支払い請求を受けた時には速やかに対応ください。

お願い

- 患者さんのより良い入院環境を保つために、病院の規程等をお守りください。
- 患者さんの個人情報を守るため、ご家族等からのお電話での入院・退院・病状等のお問い合わせにはお答えしておりません。必要な場合には病院からご連絡をいたします。
- 当センターは全館および敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。

- 病院内での飲酒や酒類の持ち込みはしないでください。ノンアルコールのアルコールテイスト飲料も含みます。
- 病院内での許可のない写真・動画の撮影や録画はおやめください。
- 他の病棟や病室への立ち入りはご遠慮ください。
- 病院内での宗教活動や政治活動、他の患者さんへの迷惑行為はおやめください。
- 職員が金品などの贈り物を受け取ることは規程で禁止されています。入退院に際してのお心遣いは一切不要です。感謝の気持ちやご意見等は、病院内に設置してあります「病院長への手紙」で届けていただければ幸いです。
- 新しい薬の臨床試験や新しい治療法の開発のための臨床試験、患者サービス向上のためのアンケート調査などにご理解・ご参加をお願いすることがあります。全て臨床試験審査委員会、倫理審査委員会での審議を経て承認されたものです。ご同意が頂けた場合のみ手続きを行います。がん医療の発展のためにご協力をお願いします。
- 当センターへのお問い合わせは、平日 8 時 30 分から 17 時 15 分までとなっています。ご協力をお願いします。

安全で快適な入院治療を受けていただくために

当センターでは、がん治療の専門病院として、患者さんに適切な入院治療を提供するとともに、安全で快適な入院生活を送っていただけるよう、最大限の努力をしております。

しかしながら、入院生活においては、患者さんと医療機関との間に信頼と協力の関係があることが必要です。

つきましては、入院される患者さんとそのご家族の皆様におかれましても、〈患者さんの責務〉をお守りいただき、当センターでの入院治療にご協力くださいますようお願いいたします。万が一、〈患者さんの責務〉をお守りいただけない場合には、警察に通報させていただくこともございます。

輸血について

埼玉県立がんセンターは、埼玉県の中核的がん専門医療機関として医学、医療の進歩に対応した設備と機能を確保し、県民の皆様のがん治療に対するニーズに応えるため、患者さんの権利を尊重した医療の提供に努めております。

【宗教的信念などの理由から輸血を拒否される患者さんへ】

当センターでは、できる限り代替療法を用いて治療を行い、輸血を回避するよう努力いたします。しかし、手術をはじめとする診療中に「生命の危機」が生じ、医学的知見に基づき輸血をせざるを得ないと判断した場合においては、宗教的信念などの理由から輸血を拒否される患者さんに対しても、輸血を実施します。

今後も県民の皆さんの生命と健康を守るため、誠意を持って診療にあたっておりますので、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

入院の手続き

●入院までの流れ

外 来 → 入院申込 → 入院連絡 → 入 院

入院申し込みについて

- 特別病室への入院を希望される方は、担当医師から入院申し込みの説明があった際に医師と相談を行ない、入院前に「特別病室入院申込書（同意書）」の手続きが必要となります。なお、病室名や料金は次のとおりです。

(税込み)

室名	特別室 A	特別室 B	特別室 C	特別室 D
料金 (円)	26,100 円	15,700 円	14,600 円	13,600 円

上記の室料は特別室を1日利用した際の料金であり、1泊2日の料金ではありません。

- 一般病室へ入院後、特別病室をご希望される場合は、病棟師長へご相談ください。
- 特別室のご利用については、ご希望に添えない場合があります。
入院時にご希望の部屋が空いていない場合は一般病室（4人部屋）への入室も併せてご検討いただきたく存じます。何卒ご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

入院のご連絡について

- 入院の日時が決まりましたら、当センターからご連絡先へお電話をいたします。検査や治療スケジュール等の調整後、入院の前日に連絡をすることもございますので、早めに「入院時の持ち物」を準備してお待ちください。

入院当日

- 入院当日は、午前9時30分から10時30分までに1階⑦患者サポートセンター入院受付窓口にお越しください。※入院当日抗原検査を受ける方は手順が変わりますのでご注意ください。

入院受付窓口へ提出する書類等	入院病棟へ提出する書類
☐ 誓約書 ☐ 保険証又はマイナンバーカード ☐ 介護保険被保険者証（お持ちの方のみ） ☐ 診療券 ☐ 特別病室を申し込まれた方は特別病室入院申込書（同意書） ☐ 限度額適用認定証 ※マイナンバーカードをお持ちの方はカードリーダーにて限度額情報の提供に同意いただけると、限度額適用認定証の事前申請は不要になります。	☐ 入院される方へ ☐ 患者連絡表 ※入院前の記入にご協力をお願いします

- 万一上記の時間に遅れる場合は、お早めに代表番号へ電話していただき、入院係までご連絡をお願いします。
- 入院される場合には、必ず病棟入口の自動扉横にあるインターフォンを押してください。
- 入院当日に車で来院される場合は、必ず運転者同伴をお願いいたします。また、入院患者さんの駐車場のご利用はご遠慮いただいております。

入院生活について

入院生活に必要な持ち物

- 現在ご使用のお薬（内服薬・外用薬）、おくすり手帳、お薬説明書等を持参の上、医師または看護師へ全てお渡しください。
- 日用品でお持ちいただくもの

☐ パジャマ（前開きのものがあると便利です） 有料レンタル有 ☐ 下着 ☐ 靴下等必要な衣類
☐ タオル、バスタオル ☐ ティッシュペーパー（箱） ☐ 石けん（ボディソープ）、シャンプー ☐ 洗面用具
☐ 湯のみ（こわれにくいもの） ☐ 踵のある滑りにくい履物（スリッパ・サンダル・クロックスは禁止）
☐ テレビ用イヤホン

必要時準備していただくもの

☐ パジャマの上に羽織るような衣類（散歩や検査等で病棟外へ出かけるときの防寒対策）
☐ 電気式ひげそり（男性の方） ☐ 不織布マスク

その他

☐ 筆記用具 ☐ 義歯・義歯保管容器 ☐ 時計（病室に時計はありません）
☐ 補聴器・眼鏡 ☐ ハンガー ☐ 電子機器の充電器

※有料での洗濯も取り扱っております。
看護師へご相談ください。
※ドライヤーの貸出がありますので、
必要な方は申し出てください。

- 事故防止のため刃物類（はさみ、カッター、T字カミソリ、爪切り）、ライター類の持ち込みはご遠慮ください。（入院時お持ちになった場合には、お預かりさせていただく場合があります。）

病室について

- 病室のテレビはテレビカードを使用して視聴することができます。各階のデイルームにて1枚1,000円（1枚で16時間40分視聴可能）でご購入できます。
度数の残ったテレビカードは1階にて換金できます（21ページ参照）。
- 床頭台の冷蔵庫は有料です。利用料は1日あたり200円で、テレビカードでのお支払いです。
詳しい利用方法につきましては備え付けの取扱説明書をお読みください。
- 盗難事故防止のため、**多額の現金や貴重品**（装飾品を含む）は持ち込まないでください。
床頭台に備え付けのセーフティボックスをご利用いただき、患者さんご自身で施錠・管理してください。万一、盗難にあった場合、当センターは責任を負いかねます。
- 4階個室病棟及び緩和ケア病棟以外でテレビ、ラジオを使用する際には、イヤホンをお使いください。
- 消灯時間は21時です。就寝時間中は、静粛を守り、騒音等は他の方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。
- ご本人や他の患者さんの病状により、急に病室を移動させていただく場合もございますので、ご了承ください。
- 4人部屋利用時に特別な理由がない限りベッドの位置の希望はできません。
- 「ごみ」は、ごみ置き場の表示にしたがい分別にご協力ください。
- 院内、敷地内は飲酒、喫煙、火気取り扱いはできません。
- 検査や治療室からの呼び出し、面会者の来訪等がありますので、病棟を出られる時は、必ず看護師に行き先をお伝えください。
- 各ベッドに付いているカーテンは、処置時に使用します。普段は開けておいてくださるようご協力をお願いします。また、カーテンレールや室内には、洗濯物等はかけないようお願いいたします。

お荷物について

- 荷物は床やベッドの周囲、ロッカーの上部には置かず、ロッカー（棚）内に収納していただき、整理整頓をお願いします。

1 日の流れ

入院生活は概ね次のような流れとなります。

- 6時…起床・検温 病室および廊下の電気がつきます ●8時頃…朝食
- 9時頃…医師の診察、検査、採血、治療、処置など ●10時…検温
- 12時…昼食 ●14時…検温 ●18時…夕食 ●19時…検温
- 21時…消灯 病室および廊下の電気が消えます

※検温時間は患者さんの状態により異なります。

※21時から翌朝7時までは病棟入り口ドアは自動で開きませんのでご注意ください。
(インターフォンを押してください)

外出や外泊について

P14【病院内での感染症拡大予防について】
の項目もご参照ください

- 外出または外泊を希望される方は、前日までに主治医の許可が必要となります。看護師へご相談ください（敷地外は、外出扱いとさせていただきます）。
- 外泊許可は1泊までとなっています。
- お出かけ前に、「外出・外泊届」のご記入とご提出の手続きを済ませてください。
- お出かけ時およびお戻りの際は、看護師へ声をかけてください。
- 万一、お戻り時間に間に合わない場合は、病棟へご連絡ください。

入院中の他医療機関への受診について

入院中に他の医療機関（病院・医院）に受診または代理の方（家族）が行かれる場合は必ず事前に担当医又は看護師にご相談ください。

ご相談なしに他の医療機関を受診されますと、健康保険証を使えず全額患者さん負担となる場合がございます。

お食事について

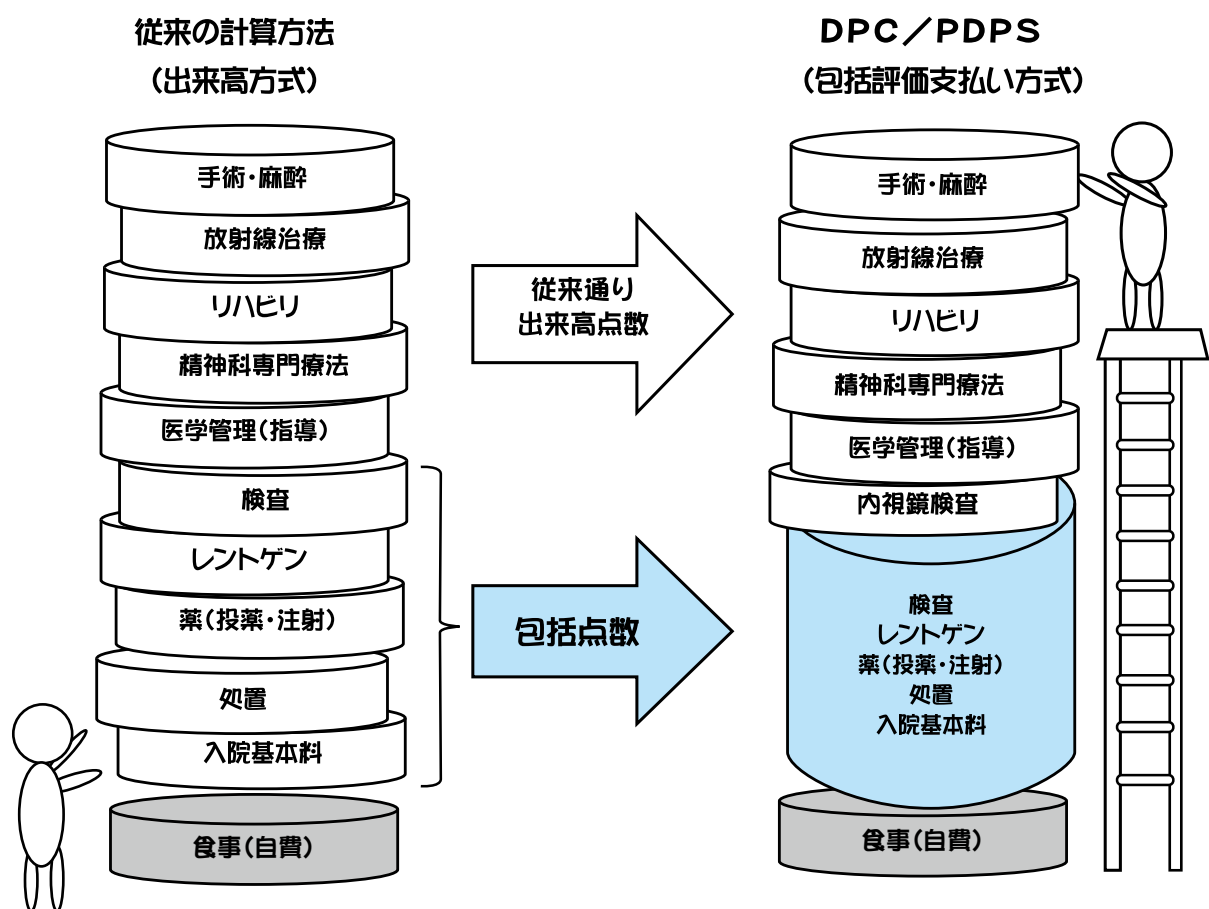
- 食事時間は朝食午前8時、昼食12時、夕食午後6時となります。
- 1週間の予定献立は毎週病棟内の掲示板に掲載しております。
- 次のような方はお早めに看護師にご相談ください。

☐ 食欲がない、味覚が変わった、臭いが気になる、☐ 内炎ができているなどで食事が食べにくい方
☐ やわらかい食事形態を希望される方 ☐ めん食（昼・夕のみ）やパン食を希望される方、または苦手な方
☐ 食事療法をされている方（糖尿病、消化器術後など）
☐ 食品によるアレルギーがある方 ☐ 嗜好上、食べられないものがある方

DPC（入院医療費の包括評価）のご案内

当院は、厚生労働省の指定を受け、平成 26 年 4 月 1 日から『DPC対象病院』になりました。
これに伴って、入院医療費の計算方法が従来の『出来高方式』から、『診断群分類別/包括評価支払い方式（DPC/PDPS）』と呼ばれる「包括評価点数」と「出来高評価点数」を組み合わせた新しい計算方法となりましたので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

『DPC/PDPS』の包括評価部分は、患者さんの症状の経過や治療行為によって担当医が判断した『診断群分類（病名）』により、「1日当たりの医療費（包括評価点数）」が決まります。



医療費 = 【(包括点数 × 入院日数) + 出来高点数】 + 食事療養費

• 緩和ケア病棟へ入院される方は『緩和ケア病棟入院料』になります。

医療費の支払いについて

医療費が高額になっても実際に負担しなければならない1ヶ月の金額は、所得に応じて定められている★自己負担限度額までとなります。

$$\text{医療費} = \left(\begin{array}{c} \text{保険適応の費用} \\ \text{(診察、検査、手術、抗がん剤、} \\ \text{放射線治療など)} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{保険適応外の費用} \\ \text{(食事代、有料個室代、} \\ \text{診断書代などの自費)} \end{array} \right)$$

→ 総医療費 (10 割) ←

患者負担 1・2・3 割	保険者 (健康保険) が支払う分 7・8・9 割	保険外負担の費用
★自己負担限度額	高額療養費	

★自己負担限度額 (70 歳未満) 【1 ヶ月 (暦月) ごと】 ※所得により、金額が異なります。

所得区分		ひと月の上限額 (世帯ごと)	
		過去 12 ヶ月の高額療養費該当 3 回まで	4 回目以降 「多数該当」
ア	年収約1,160万円以上 標準報酬月額83万円以上	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1%	140,100円
イ	年収約770～約1,160万円 標準報酬月額53～79万円	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1%	93,000円
ウ	年収約370～約770万円 標準報酬月額28～50万円	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%	44,400円
エ	年収約370万円以下 標準報酬月額26万円以下	57,600円	44,400円
オ	市区町村民税の非課税世帯	35,400円	24,600円

★自己負担限度額 (70 歳以上)

所得区分		外来 (個人ごと)	ひと月の上限額 (世帯ごと)
現役並み 所得 (3割負担)	Ⅲ (年収: 約1,160万円以上)	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1% 4ヶ月目以降は140,100円	
	Ⅱ (年収: 約770万円～約1,160万円)	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1% 4ヶ月目以降は93,000円	
	Ⅰ (年収: 約370万円～約770万円)	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1% 4ヶ月目以降は44,400円	
一般 (1～2割)	年収: 約156万～約370万円	18,000円 (年間上限: 『8月～翌年7月』 144,000円)	57,600円 4ヶ月目以降は44,400円
住民税 非課税世帯 (1～2割)	Ⅱ	8,000円	24,600円
	Ⅰ (年金収入80万円以下など)		15,000円

電気製品の持ち込みについて

- テレビや電気ポット等の電力を消費する機器のお持ち込みは、ご遠慮ください。
- パソコンなどを持参された場合には、十分な自己管理をお願いします。

防災について

- 入院時に非常口等をご案内します。
- 火災時は非常ベルが鳴ります。院内放送および職員の指示に従ってください。口に当てるタオル等をご準備ください。
- 非常階段は通常施錠してありますが、必要時開錠されます。

携帯電話・タブレット端末等の使用について

- 入院中は、携帯電話・タブレット端末は、マナーモードに切り替えてご使用ください。
- 医療機器への影響や他の患者さんの安静・静寂な環境保持のため、携帯電話やタブレット端末で通話するときは、デイルームや電話ボックスをご利用ください。
- 大きな声での通話や消灯時間以降の使用はご遠慮ください。
- 携帯電話やタブレット端末、カメラ、ビデオ等による、写真・動画の撮影や録音は、他の患者さんのプライバシーを守るためにも、おやめください。
- 他の患者さんやご家族の迷惑になるような使用をしている場合は、携帯電話等のご使用を注意させていただく場合があります。

その他

- トイレの照明は人感センサー式です。動かず一定時間過ぎると消灯してしまうことがあります。もし室内灯が消えてもあわてないでください。大きく手を振るなどの動作を行うことにより再点灯します。
- 入院中、自家用車の長期駐車場ご利用は、ご遠慮ください。
- 院内では、院内無料 Wi-Fi が利用できます。
- LANケーブルは使用できません。
- 看護師はユニフォーム2色制を導入しています。
日中は白、夜間はあずき色です。ご用の際は各勤務帯の看護師にお声がけください。

医療安全対策・褥瘡(じょくそう)予防

患者さんの確認について

患者さん間違いの防止のため、以下のことにご協力ください。

●お名前の確認

- 安全確認のため、様々な場面で何度もお名前と生年月日をお聞きます。
- 点滴や注射を行うとき、お薬を渡すとき、検査や処置を行うとき、配膳時、治療や検査結果の説明時、書類などを渡すときなどは、患者さんご自身に、フルネームと生年月日をお答えいただきます。
- 診療券や書類、お薬等を受け取るときは、表示されているお名前と生年月日をご確認ください。

●リストバンドの装着

- リストバンドにはお名前や生年月日などが表示されており、患者さんの確認に使用します。
- リストバンドに表示されているお名前・生年月日・性別をご確認ください。誤りがあるときは必ずお申し出ください。
- 入院時に装着し、退院時まで常時装着していただきます。

●病室前のお名前の表示

- 病室入口およびベッドサイドに患者さんのお名前を表示しています。
- 患者さんのご希望により、病室入口は表示しないこともできますので、お申し出ください。

転倒・転落の予防について

- 加齢や体力の低下、治療や薬の影響、不慣れな環境の中での入院生活、病状の変化等により、どなたにでも転倒・転落の危険が生じることがあります。受傷の程度により、入院期間が延長したり、治療が必要になることがあります。
- 転倒・転落による重症化を予防するために、以下のことにご協力ください。

- 入院中は踵のある、滑りにくい履物をご使用ください。
- パジャマや寝巻は、背丈にあったものをお召しください。
- 点滴スタンドにはストッパーがないため、不意に手をついたり、足をかけたりすると、転倒する恐れがあります。
- ベッドやオーバーテーブル、床頭台は常時ストッパーをかけてお使いください。
- ベッドから身を乗り出して床に落ちたものを拾おうとすると、バランスを崩して転落しやすいので危険です。また、動くものにつかまって移動したり、ベッドから降りたりするのは危険です。十分にご注意ください。

- ふらつきやめまいなどがあるとき、歩行や移動に不安があるときは、遠慮なくお申し出ください。

- 転倒・転落の防止のため、離床センサーや安全カメラの使用、病室の移動、薬剤の使用など、患者さんの状態に合わせた対策を行います。危険が予測される場合には、ご家族の付き添いをご相談させていただくことがあります。
- 転倒・転落してしまった場合は、すぐにお近くの職員にお知らせください。

アレルギーについて

- 薬剤、食品、金属などのアレルギーのある方は、必ずお申し出ください。

常用しているお薬について

- 常用しているお薬とお薬手帳、お薬説明書をご持参ください。入院病棟で医師又は看護師に全てお渡しください。他の病院で処方された内用薬・外用薬・注射薬のほか、薬局で購入したお薬、サプリメントなども含みます。また、症状がある時のみ服用するお薬もご申告ください。
- 入院中は医師の指示・許可のないお薬を使用しないでください。治療や検査、処置に影響する場合があります。サプリメントや健康食品も同様です。
- 入院中、お薬を患者さんに管理していただくことがありますが、その際も必ず看護師が確認してから服用してください。

その他

- 患者さんの健康状態の観察のため、マニキュアやジェルネイルは入院前に落とし、入院中のお化粧（メイクアップ）はご遠慮ください。
- 外した義歯はティッシュなどにくるまず、専用の義歯ケースに入れて保管してください。また、食膳に載せたままにしないでください。
- 補聴器・眼鏡は患者さんご自身で管理してください。ケースの準備もお願いいたします。
- 事故防止のため、刃物類（はさみ、カッター、T字カミソリ、爪切り）、ライターやマッチなどは持ち込まないでください。

褥瘡予防について

- 褥瘡とは、一般的に床ずれと呼ばれています。
- 思うように身体が動かせない時に、臀部や踵や背中などの骨の出ているところに圧迫が加わって血液の流れが悪くなり、身体のズレや摩擦などによって生じます。
- 褥瘡を予防するためには、体圧分散寝具（圧迫を軽減させるマットレス）を使用する、身体の向きを定期的に変えることが必要です。また褥瘡予防・治療には、担当医師や看護師、褥瘡対策チームが共同して対応します。褥瘡対策に対するご理解・ご協力をお願いします。

感染防止対策

当センターはがん専門病院であり、免疫力の低い患者さんが多く入院されています。そのため、医師・看護師をはじめとする全ての職員に対して、手指衛生を基本とした感染対策を義務付けております。患者さんならびにご家族の方におかれましても、院内感染予防のため、下記の感染対策にご協力をお願いします。

手指衛生

- 感染の予防で一番大切な対策は手指衛生（手指消毒または手洗い）です。
- 病室への入退室時には、入り口にある手指消毒剤で手の消毒をしてください。
- トイレ後や食事の前には石鹸と流水による手洗いが勧められています。
- 職員の手指衛生が不十分と思われる場合は、遠慮なくご指摘ください。

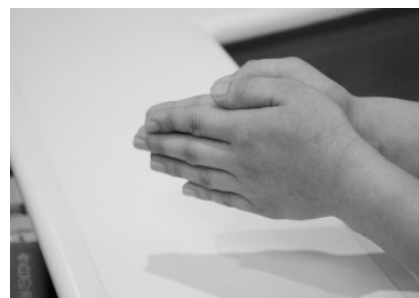
<手指消毒の方法>



①手をかざすと自動で手指消毒剤が出ます



②指先や爪によくすりこむ
消毒液を移動させて反対の指先もよくすりこむ



③手のひらによくすりこむ



④手の甲と指の間に
よくすりこむ



⑤親指全体をひねるように
してよくすりこむ



⑥手首によくすりこむ

病院内の環境衛生について

- 床に荷物を置くことは、埃などの付着により不衛生であり、また清掃の妨げになるためご注意ください。
- 毎日、職員がオーバーテーブルや床頭台などの拭き掃除を行います。なるべく使用していない私物は、ロッカーに収納いただき、清掃しやすい環境を整えていただくようご協力をお願いします。
- 水回りは雑菌が繁殖しやすい場所です。洗面で使用した私物（歯ブラシ・洗剤等）は置いたままにせず、使用後は片づけるようお願いします。

咳エチケットについて

- 咳やくしゃみをする時は、ハンカチやティッシュで口や鼻を被ってください。
- 使用したティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、必ず手を洗ってください。
- 咳やくしゃみが出る方は、マスクの着用をお願いします。
- マスクは不織布マスクとし、ご自身でご準備をお願いします。（マスクはコンビニ・防災センター前の自動販売機で販売しております。）

病院内での感染症拡大予防について

～インフルエンザやコロナウイルス、感染性胃腸炎の流行期には～

- 入院時、あるいは入院前1週間以内に、発熱、鼻水、のどの痛み、筋肉痛、関節痛などの症状がある場合は、速やかに医師・看護師にお知らせください。また、同居のご家族に同様の症状があった場合もお知らせください。
- 病院の中でも、人の多い場所（外来・コンビニ・食堂・談話室等）への外出は必要最低限としてください。
- 病院からの指示で、部屋の移動や病室内でのマスク着用、面会制限、外泊・外出禁止をお願いすることがあります。あらかじめご了承のうえ、速やかにご協力ください。
- 感染拡大予防のため、ウイルス検査や薬剤耐性菌検査をお願いすることがあります。
- 感染症の広がりを防止するために、個室隔離をお願いすることがあります。また、防護具（マスク・手袋・エプロン・ガウン・ゴーグル）などを装着して処置を行います。

面会について

面会時間

- 患者さんの安静と治療の妨げにならないよう、面会時間を定めております。
面会時間は、感染状況により異なります。また、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の流行期には面会を制限あるいは禁止させていただくことがあります。
詳しくはホームページまたは院内掲示でご確認ください。

面会の方法について

- 病棟で面会カードを記入していただきますのでご協力をお願いします。

面会時のお願い

- 面会時の飲食につきましては、決められた場所でおとりいただくようご協力をお願いします。
- 当センターには抵抗力や免疫力が低下している患者さんが入院しております。熱がある方、風邪をひいている方、下痢や嘔吐などの症状がある方は、患者さんの安全を守るため、ご遠慮いただきますようご協力をお願いします。
- 12歳以下のお子様の面会はできません。小児待機室が1Fにありますのでご利用ください。
お子様だけの待機はできませんのでご了承ください。
- 多人数の面会は他の患者さんのご迷惑になりますので、デイルームをご利用ください。
- 携帯電話は医療機器への影響や患者さんへの安静・静寂な環境が保たれるように、各病棟デイルーム・電話ボックス等、指定された場所でご使用いただくよう、ご協力をお願いします。
ご使用の際は、周りの方にご迷惑がかからないようマナーをお守りください。
- ご家族、ご面会の方の貴重品等の持ち物は、ベッド上などに置いたままにせず、常に身につけて管理していただくよう、ご協力をお願いします。
- お花や花瓶の水は、感染やアレルギーの原因となるため、お見舞い用の花（生花、鉢植え、プリザーブドフラワー、ドライフラワー）の持ち込みはご遠慮ください。

付き添いについて

- 付き添いは原則として必要ありません。
- 患者さんの病状等により、ご家族の方の希望や医師が必要と判断した場合は、患者さんのそばにいていただくことがあります。
- 付添ベッドや家族仮眠室もございます（有料となります）。

入院中の費用について

- 医療費は、原則として保険で算定されます。
- 特別室料金、診断書料金等は、患者さんのご負担となります。
- 費用の問い合わせについて
※治療費の概算に関すること
入院中の場合：病棟の事務（クラーク）にお尋ねください。
外来通院の場合：1階の⑤会計窓口にてお尋ねください。
※医療費のお支払いについてご心配な場合は、患者サポートセンター（がん相談支援センター）へご相談ください（19 ページで紹介しています）。

お支払い方法

- 入院に伴う医療費等のお支払い→1階の⑤会計窓口又は⑥自動精算機でお支払いをお願いします。

毎月月末で締め切り



翌月 11 日以降に請求書をお渡しします

- 退院時のお支払い

前日又は当日
に入院費のお
知らせ（入院
医療費概算）
をお渡ししま
す。
（希望者のみ）

平日



退院当日にお支払いください

土・日・祝日



後日納入通知書
（請求書）を送付
します



埼玉りそな銀行・りそな銀行の
窓口（ATM・ネット振込不可）に
てお支払いをお願いします。
（手数料不要）
当センター 1 階の⑤会計窓口で
もお支払い可能です。

クレジットカードの支払い

- 1階の⑤会計窓口又は⑥自動精算機にてご利用が可能です。
- 利用できるクレジットカード会社は以下となります。

● AMEX（アメリカン・エクスプレス） ● DC ● JCB ● Master Card
● NICOS カード ● UFJ カード ● VISA

- 事前に手続きは不要です。

退院の手続きについて

- 退院の日程が決定しましたら、病棟看護師より退院後の生活やお薬、外来の受診についてご説明します。
- 入院費用の概算をご希望の方は、退院前日までにお申し出ください。
(ただし、当日までに請求金額が確定できない場合には、後日、納入通知書（請求書）を送付します。)
- 退院時のお支払いについて（16 ページ参照）
平 日：退院当日にお支払いください
土日祝日：後日納入通知書（請求書）を送付します
- 病状の経過や検査の最終結果によって病名が変わることがあります。変更になった場合には、お支払いいただいた医療費との差額調整を行い、後日追加請求が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 退院時間は原則午前10時です。

確認事項 ～お忘れ物はありませんか？～

- 退院時は以下の内容をご確認ください。

- お薬（持参薬、当センターから処方されたお薬、入院時に預けたお薬）
- お薬手帳（病棟でお預かりした方のみ）
- 診療券 ●次回外来日
- お荷物（ロッカー・床頭台・ベッド周囲・冷蔵庫・洗面所など）
- 携帯電話・充電器・貴重品など、いま一度ご確認ください。

退院後の緊急連絡方法について

平日

予約日以外に受診をご希望される場合は、予約係または各診療科外来へ電話でご相談ください。受付時間 8:30～17:00

夜間、土日、祝日

主治医は不在となり、当直医師が対応することになります。

緊急時や受診をご希望される場合は、日当直看護師または日当直看護師長へ連絡をしていただきご相談ください。

予約変更については平日のみ対応となります。

埼玉県立がんセンター

連絡先 048（722）1111（代表番号）

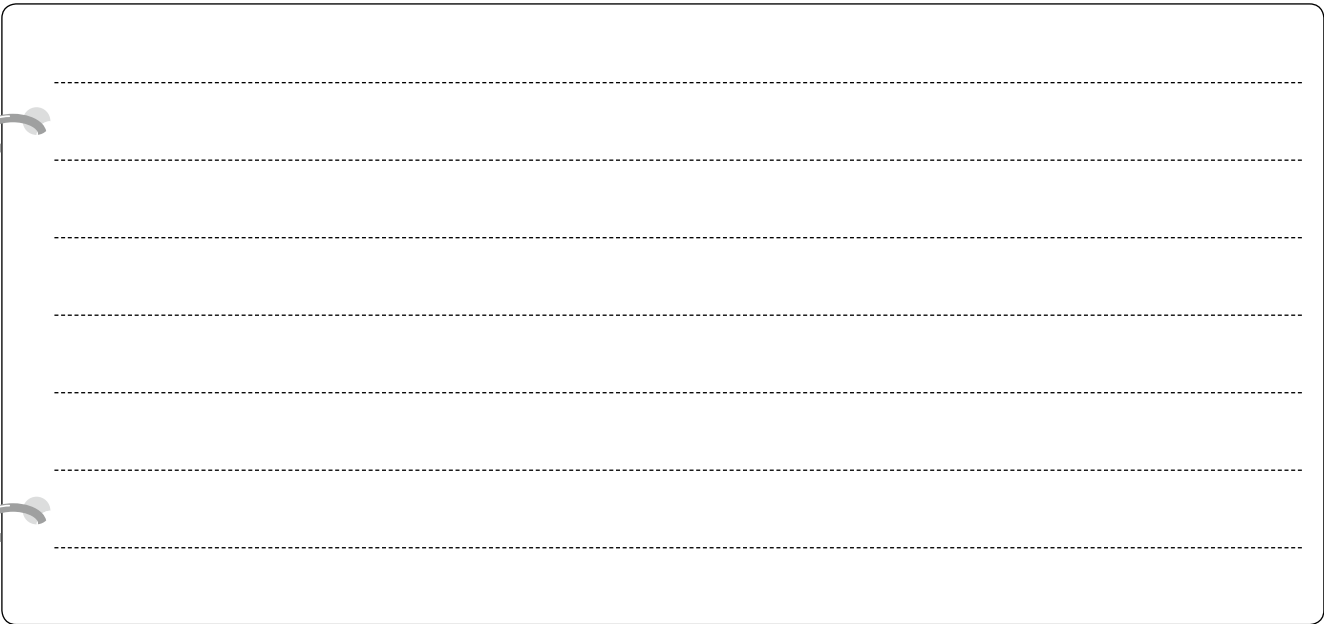
診断書等の書類が必要なときは

- 診断書や証明書の交付を希望される場合は、平日午前 8 時 30 分～午後 5 時に、1 階②書類・予約窓口にお申し込みください。保険会社などから指定された書類（様式）をお持ちの方は、その際にご提出をお願いします。
- 複数の科を受診されている場合には、科ごとにご依頼が必要になります。
- お申し込みをいただいてから書類交付までには 1 ヶ月前後かかります。場合によってはそれ以上かかることもありますので、ご了承ください。
- 入院期間の証明を含む書類の場合には、退院日が確定してからのお申込み受付となりますのでご注意ください。
ただし、入院期間が長期にわたっている方などで、入院中に証明書が必要な場合は、その旨をお申し出ください。

保険、住所、電話番号などが変更になったときは

- 入院中に保険証に変更が生じた場合は、平日午前 8 時 30 分～午後 5 時に、1 階⑦患者サポートセンター入院受付窓口にご提示ください。また、住所や電話番号などに変更が生じた場合は、病棟の事務（クランク）または 1 階⑦患者サポートセンター入院受付窓口までお知らせください。

メモ



● 患者サポートセンター(がん相談支援センター)のご案内 ●

がん相談支援センター

来院されましたら、ぜひ一度お立ち寄りください。

がん相談支援センターでは患者さんやご家族からのがんに関する疑問や不安、悩みをお伺いしております。

相談の内容により、看護師やソーシャルワーカーが皆さんのお話を伺い、一緒に考えながら問題解決のお手伝いをさせていただきます。

また、入院前から退院後の生活を考え、安心して退院後の生活が送れるように、患者サポートセンターのスタッフが、病棟看護師や医師、薬剤師、地域の関係機関と連携・協力しながら退院準備を行います。

【治療過程での支援のイメージ】

外来

- ・安心して入院生活が送れる準備
- ・がんに関すること、がんの治療について
- ・検査・治療の費用や医療・福祉制度について
- ・仕事が続けられるか心配
- ・頼れる人はいないが1人での入院は大丈夫か
- ・介護している家族がいる



1階⑦番 入院支援
入院支援看護師が入院前にお話を伺い必要な支援を行います。
1階8番
がん相談支援センターへご相談ください

入院

- ・医療処置(点滴・傷の処置など)について
- ・今までの仕事ができるか不安
- ・自宅での生活(食事・入浴・排せ)の不安
- ・介護保険・介護負担について



病棟看護師にご相談ください。主治医・病棟看護師・退院支援職員などが協力して支援いたします。

退院

- ・入院中に退院支援職員(看護師・ソーシャルワーカー)がご本人・ご家族とお会いして、必要な介護保険サービス、訪問看護、在宅医、施設、病院などと連携を行い、安心して退院できるように支援いたします

地域医療連携のサポート

地域医療機関との診療連携をサポートしております。がん診療連携手帳を用いてがんセンターと地域医療機関（かかりつけ医）が協力し、診療体制を作り医療を提供しております。患者さんが主治医のほかにかかりつけ医を持つことで、きめ細かな対応と医療を提供できることを目指しています。

入院前より利用していたサービスがありましたら、お知らせください。

また、がん治療前の口腔ケアをお勧めしています。がん治療時におこる口腔内のトラブルを予防し、治療が円滑に進むよう、治療開始前の歯科受診をお勧めしています。かかりつけの歯科医がいない場合は、がんセンターと連携している歯科医をご紹介します。

【相談時間】

月～金曜日（祝日、年末年始を除く） 9時～16時

電話相談：9時～12時 14時30分～15時30分

【相談方法】

電話または面談です。面談は原則として予約制です。事前に電話で予約を取っていただくか、担当医師や看護師または患者サポートセンター（がん相談支援センター）にお申し出ください。費用は無料です。

【連絡先】

埼玉県立がんセンター 代表 048-722-1111

8番 患者サポートセンター（がん相談支援センター）



病棟内の設備

洗濯室	●各病棟にドラム式洗濯乾燥機があります。テレビカードでのご利用になります。 ●洗剤等は、ご自身で準備してください。 ●使用時間は午前7時から午後7時までです。 ●私物の洗濯はご本人、ご家族の方をお願いしています。 ●ご本人、ご家族が洗濯できない時は、洗濯室に有料で頼むこともできますので、看護師にご相談ください。 ●病室内に洗濯物を干すことはご容赦ください。
電話	●各階デイルームに公衆電話を設置しています。テレビカードでのご利用になります。 ●ご家族からの伝言は、スタッフステーションでお受けできます。
介助浴室 シャワー室	●各病棟にシャワー室があります。 ●決められた時間内にご利用いただけます。 ●看護師が介助しながら寝たまま入れる浴槽もあります。
デイルーム 給湯室	●各階のデイルームに給湯室があります（一部除く）。 ●備え付けの冷蔵庫、電子レンジ、お湯や氷等もあわせてご利用ください。
テレビカード 販売機	●各階デイルームに販売機を設置しております。 このカードは冷蔵庫やドラム式洗濯乾燥機にもご使用できます。 退院時に余った場合は、1階待合ホール及び1階防災センター窓口横の払い戻し機で精算ができます。
病棟入り口 自動扉	●各病棟入り口の自動扉は、セキュリティのため午後9時から午前7時まで、外部からは自由に入ることができません。入り口のインターホンでお知らせください。

病院内の設備

施設	場所	営業時間	備考
美容室	4 階	平 日 9 : 00 ~ 17 : 30 土日祝日 休業	
売店	4 階	毎 日 8 : 30 ~ 17 : 00	医療材料専門・ レンタルパジャマ (8:30 ~ 16:00)
家族仮眠室	4 階	付添いの方に家族仮眠室を用意しています トイレ・シャワーも設置しています ご利用希望の方は、看護師長へご相談ください	有料
レストラン	2 階	平 日 10 : 00 ~ 15 : 00 土日祝日 休業	
図書館	2 階	平 日 10 : 00 ~ 16 : 00 土日祝日・年末年始 休館 (医学専門図書館です)	
コンビニエンスストア	1 階	平 日 7 : 00 ~ 20 : 00 土日祝日 7 : 00 ~ 18 : 00	FAX・コピー・ポスト・ 宅配便・ATM
カフェ	1 階	平 日 7 : 30 ~ 18 : 00 土日祝日 休業	
A T M	1 階 コンビニ横	平 日 9 : 30 ~ 18 : 00 土 日 9 : 30 ~ 14 : 00 祝日 休業	埼玉りそな 銀行
小児待機室	1 階	授乳、おむつ交換やお子様連れの方の待合スペースとしてご利用ください	
コインロッカー	1 階	硬貨は使用後に返却されます	
ひまわり文庫	1 階 (ホスピタル ストリート各所)・2 階 各病棟・デイルーム	待ち時間にご利用いただけるように一般書(小説・漫画)を置いています	
テレビカード 販売機	各階デイルーム 1 階 待合ホール	病棟でご使用になるテレビカードを販売しています	
テレビカード 精算機	1 階 待合ホール 1 階 防災センター窓口横	テレビカードの精算が出来ます	
マスク 自動販売機	1 階 総合案内前 1 階 防災センター窓口横	面会者用にマスクを販売しております	
庭園	4 階	9 : 30 ~ 17 : 00	3階庭園へは、 No.11 のエレ ベーターをご 利用ください。
	3 階	9 : 30 ~ 17 : 00	
	1 階西側	8 : 30 ~ 17 : 00	
自動販売機	4階 コミュニティラウンジ	飲み物の販売機があります	
	2階 通院治療センター内		
	1階 電話ボックス横		
	各病棟 デイルーム		

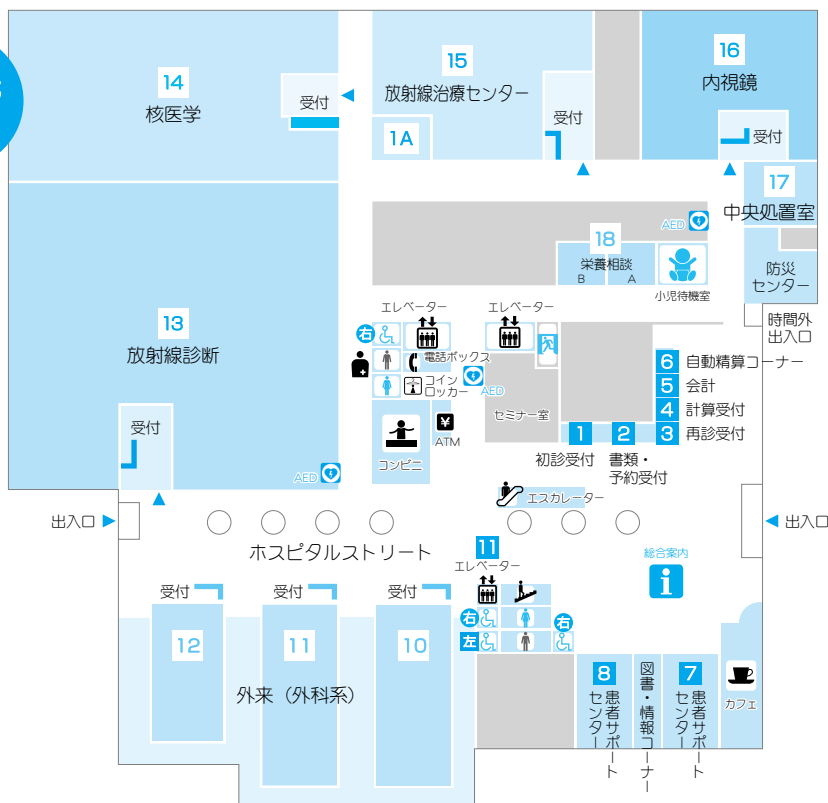
※コロナ禍による影響で上記の営業時間が変更になる場合があります。

病院内のご案内

2階



1階



- 男性用トイレ
- 女性用トイレ
- 多目的トイレ (手すりの位置が右)
- 多目的トイレ (手すりの位置が左)
- オストメイト
- エレベーター
- エスカレーター
- 階 段
- 非常階段
- コインロッカー
- 電話ボックス
- コンビニ
- ATM
- AED
- レストラン
- カフェ
- 総合案内
- 小児待機室
お子様連れのお客様は、
ご利用ください。
- 授乳室
- 子供用トイレ
- ベビーベッド



病院敷地内は全面禁煙です

建物のご案内

10 階	緩和ケア病棟
9 階	一般病棟 無菌病棟
8 階 ↓ 5 階	一般病棟
4 階	個室病棟 RI 病棟 講堂 ギャラリー コミュニティラウンジ・休憩コーナー 家族仮眠室 美容室・ウィッグ 庭園  自動販売機  売店
3 階	手術室 HCU 庭園 医局 事務局 看護部 中央材料室 臨床工学部 研修室
2 階	20 21 外来診察 22 通院治療センター（外来化学療法室） 23 薬局 24 採血・生理検査 25 リハビリ 26 図書館  レストラン 会議室 病理診断 治験管理室 研究所 腫瘍診断・予防科
1 階	1 初診受付 2 書類・予約受付 3 再診受付 4 計算受付 5 会計 6 自動精算機 7 患者サポートセンター（入院受付 入院支援） 8 患者サポートセンター（退院支援 医療福祉相談 地域連携 がん相談支援センター） 10 11 12 外来診察 13 放射線診断 14 核医学（RI） 15 放射線治療センター 16 内視鏡 17 中央処置室 18 栄養相談 1A 入院前検査室  総合案内 セミナー室 図書・情報コーナー 防災センター  ATM  電話  カフェ  コンビニ  自動販売機  コインロッカー ポスト 小児待機室 庭園

メモ

Handwriting practice area with 20 horizontal dashed lines.

誓 約 書

埼玉県立がんセンター病院長 様

私は、入院した上は、次のとおり誓約します。

- 1 貴院の規程等、患者さんの心得、指示等を厳守します。
- 2 料金は遅滞なく納入します。

令和 年 月 日

本人住所

電話

氏 名

印

(注)

保護者住所

電話

氏 名

印

私は、上記の者が貴院に入院した上は、次のとおり保証します。

- 1 本人の身元に関する一切のことを引き受け、貴院に迷惑をかけません。
- 2 本人が退院を命ぜられた場合は、指定の期日までに必ず退院させます。
- 3 入院料その他の諸料金について、本人が納入しない場合は、誠実に対応します。
(極度額 100万円)

令和 年 月 日

保証人住所

電話

氏 名

印

本人との関係

(注) 本人が未成年のときは、「保護者」欄の記入をすること。

入院が2回目以降の方は変更があった場合のみご提出ください。

入 院 年 月 日

登録番号	様 才	
科	(ふりがな) 患者氏名 現住所 本籍	電話 () ()
連 絡 先		
(ふりがな) ① 氏 名	患者との続柄	住 所
勤務先		電話 () ()
(ふりがな) ② 氏 名	患者との続柄	住 所
勤務先		電話 () ()
(ふりがな) ③ 氏 名	患者との続柄	住 所
勤務先		電話 () ()
(ふりがな) ④ 氏 名	患者との続柄	住 所
勤務先		電話 () ()
(ふりがな) ⑤ 氏 名	患者との続柄	住 所
勤務先		電話 () ()
(ふりがな) ⑥ 氏 名	患者との続柄	住 所
勤務先		電話 () ()

(注) 連絡先の順位は配偶者、親、子、兄弟、姉妹、叔母等の順としてなるべく多くお書きください。
上記関係者が不可能な方は知人等(貴殿を良く知っている人)をお書きください。
この用紙は入院のときに必ず係にお出しください。

⑦入院受付へ提出

＊入院受付時に、⑦入院受付の回収ボックスへご提出ください。

全身麻酔手術を受ける方の口腔内診察について

当院では保険診療の流れに従って、全身麻酔下での手術前に、口腔内の診察やケアを行っています。

【目的】全身麻酔時に口腔内から挿入するチューブや器具による歯のトラブルや、口腔内細菌による手術後の肺炎を予防するため。

【日時／場所】手術前日（日曜、祝祭日を挟む場合は直前の平日）、麻酔科回診の後に口腔外科外来（11 番外来）、または、各病棟を「周術期口腔ケアラウンド」として、歯科医師と歯科衛生士が訪問します。

＊他の処置や、検査と重なった場合、診察できないことがあります。

		(記入日		年	月	日)
氏名	_____	様	診察券番号 (	_____)		
口腔内診察を（希望します・希望しません）＊○印をお願いします						



希望される方は、以下の問診票にご記入ください。

- ・かかりつけ歯科医院が（ある・ない）
- ・ある場合
歯科医院名（ _____ 市 / 郡 _____ ）
- ・最終歯科受診時期（ _____ 頃 _____ ）
- ・口腔内に気になる症状はありますか。（あり・なし）
- ・症状がある場合、下記に記載してください。

例：左上の歯が揺れている。歯茎が腫れている。等

ご協力ありがとうございました。

埼玉県立がんセンター 歯科口腔外科

私は、貴院に入院するにあたり、より良好な入院環境を希望いたしますので、下記に記載する特別病室に入院することを申し込みいたします。

【料金は 1 日（0：00～24：00）当り・消費税込み】

申込者（料金支払者） 氏 名	
住 所	
患者様とのご関係（続柄）	
連 絡 先 電 話 番 号	

注 意

- 【計算例：本日入院し、翌朝退院した場合2日間となります】

3. 外泊期間中、高度治療室（HCU）転室中においても、室料が発生します。

- ※上記について申し出のない場合は、「特別病室入院申込書」の内容を継続するものとさせていただきますのでご了承下さい。



埼玉新都市交通ニューシャトルをご利用の方

- 大宮駅から丸山駅まで 約 15 分
- 丸山駅から 徒歩約 15 分

バスご利用の方

- 高崎線上尾駅東口から病院敷地内まで乗り入れ
 - 宇都宮線蓮田駅西口から病院敷地内まで乗り入れ
(丸山駅経由・薬科大経由)
- ※がんセンターからニューシャトル志久駅までのバスあり

お車をご利用の方

- 国道 17 号 上尾市役所前交差点を東へ 約 3 km
 - 県道 3 号(さいたま栗橋線) 関山 1 丁目交差点を西へ 約 3 km
- 駐車場台数 638 台(無料)

埼玉県立がんセンター

〒 362-0806
埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地
電話 : 048-722-1111
FAX : 048-722-1129
URL : <https://www.saitama-pho.jp/saitama-cc/>



環境にやさしい
「植物油インキ」を使用しています